

哲学委員会いのちと心を考える分科会（第25期・第11回）
議事要旨

日 時：令和4年10月15日（土）14:00～16:00

場 所：関西学院大学丸ノ内キャンパス（東京都千代田区丸の内1-7-12 サ
ピアタワー10階）及びオンラインのハイブリッド開催

出席者：田坂、加藤、香川、土井（以上、対面）、小島、鈴木、羽生、松原、安
藤、建石、豊田

参考人：小松美彦

傍聴人：柳原良江

<議事>

（1）前回議事要旨の確認

第10回分科会議事要旨は、次回第11回と併せて確認を行う。

（2）参考人による講演

「日本における安楽死・尊厳死の歴史的現在——公立福生病院事件を中心に」
（参考人：小松美彦氏（東京大学大学院総合文化研究科客員教授））

公立福生病院事件（2018年8月）について、事件の概要、医師、病院と患
者、家族とのやり取りなどをもとに日本における安楽死・尊厳死について氏の
見解を聴取し、今期テーマについて示唆を与えられた。

（3）今後の予定、進め方について

今期はテーマの重要性を考慮して「提言」、「見解」による意思の表出はしな
いが、「報告」はまとめて表出することにする。これから準備をするが、原稿
の提出締切りが2023年1月31日となるので、それまでに2回は分科会を開
き審議の必要がある。

（4）その他

なし

以上